

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	寺島 雅隆	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
経営学の対象は組織であり、その中心は企業です。そして企業を起こすのが創業（起業）であり、この演習では創業者に焦点を当て、その生き方を知ると共に、経営的選択（決断）を分析・評価します。創業者がなぜその選択（決断）に至ったのか、その理由や社会的背景を分析し、自分が経営者であればと主体的に発想し、その仮説についてディスカッションすることがこの演習の目的です。創業者の経営的選択（決断）に対し、なぜ成功したのか、もしくはなぜ失敗したのかを完全に証明することは困難だとしても、多くの人が理解できるように説明することは可能です。その説得的説明には、社会科学的な様々な知識や理論を用いる必要があります。それを通じて、皆さんの社会的力や学力が増していくものと考えます。そのためにはインターネット検索だけでは不十分で、多角的に分析し、自分の頭で考え抜くことが必要です。そのようにして自らの見解を筋道を立てて述べるができるようにしていきましょう。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	レジュメを用意してプレゼンテーションをし、それを元に全員でディスカッションをおこないます。創業者に関するフィールドワークも考えます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業ガイダンス	授業の計画・進め方などについて解説します。	☐
第2回	イノベーションとマネジメントの概念説明1	ビジネス用語を正確に理解します。	☐
第3回	イノベーションとマネジメントの概念説明2	経営学用語を正確に理解します。	☐
第4回	IT業におけるプレゼンテーション1、およびディスカッション1	IT業における創業者のプレゼンテーションをおこないます。	☐
第5回	IT業におけるプレゼンテーション2、およびディスカッション2	同上	☐
第6回	IT業におけるプレゼンテーション3、およびディスカッション3	同上	☐
第7回	リーダーとリーダーシップについて考える	リーダーとしての創業者と、そのリーダーシップに関する研究成果を紹介します。	☐
第8回	ゲーム業におけるプレゼンテーション1、およびディスカッション1	ゲーム業における創業者のプレゼンテーションをおこないます。	☐
第9回	ゲーム業におけるプレゼンテーション2、およびディスカッション2	同上	☐
第10回	ゲーム業におけるプレゼンテーション3、およびディスカッション3	同上	☐
第11回	新しい産業と、その創業者を紹介する	新しい発想による新しいビジネスモデルを認識し、その創業者を知りましょう。	☐
第12回	流通業におけるプレゼンテーション1、およびディスカッション1	流通業における創業者のプレゼンテーションをおこないます。	☐
第13回	流通業におけるプレゼンテーション2、およびディスカッション2	同上	☐
第14回	流通業におけるプレゼンテーション3、およびディスカッション3	同上	☐
第15回	創業者の成功する選択の特徴と、失敗する選択の特徴を整理する	まとめを兼ねて、創業者の選択を総合的に分析します。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前には、授業のテーマについて調べ（2時間程度）、知識を得ると共に自らの見解を論じられるようにしてください。事後には、授業内容を整理し、疑問を解消し、多様な意見の中から最初の自らの見解がどのように変容したかを分析して下さい（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
毎回、授業におけるレポート課題及び発言について成績をつけます。A・B・C・Dで成績をつけ、次回授業までにTOPOSに反映させます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	創業者を深く理解できる。 経営的選択（決断）の理由や背景を認識できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	創業者への分析・評価を論理的におこなえる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	経営的選択（決断）への自らのオプションを提示できる。 そのオプションの是非をディスカッションできる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
				100%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 各回のレポート・発言が60%、プレゼンテーションが40%。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ピーター・ドラッカー『イノベーションと企業家精神』ダイヤモンド社	978-4478000649
2	ロバート・キヨサキ著『金持ち父さん貧乏父さん』筑摩書房	978-4480864246
3	寺島雅隆『起業家育成論』唯学書房	978-4902225808
4		
5		